ふみびと

第２４４号
発行所
文通村事務局
編集　広報部
千葉県成田市

雪舞う村の新世界

残りわずかな長い冬

あっという間に1月も終わり、正月休みが恋しく感じた頃ももう随分前のことのように感じます。

あっという間に過ぎたはずなのに、振り返れば昔のことのように感じるのは矛盾しているようで、時間の流れというのは本当に不思議なものです。

この便りが届く頃は、暦の上ではもうすぐ立春。まだまだこれから寒くなる時期の現代のカレンダーに当てはめると随分と気の早い話のようですが、厳しい寒さの中だからこそ気持ちだけでも春を感じるのも七十二候の楽しみ方なのかもしれません。

歳を重ねるごとにその季節の厳しさを痛感するようになって、子どもの頃のように暑さ寒さを楽しさに変えるのは難しくなったような気がしますが、それでもどこか人々はそんな季節を共有することを楽しんでいるように見えるのは四季を重んじる国民性なのでしょうか。

「今日も寒いね」

挨拶のように交わされるその言葉も、愚痴をこぼすようなものではなく、近しい人や、時に普段言葉を交わさない人とのちょっとした触れ合いになるようなところがあって、さささやかな温かさをもたらしてくれているように思います。

まだまだ冬はこれからが本番。それでも春はもうすぐそこ。まだまだ長い冬も、きっとあっという間に終わりを告げるのでしょう。

矛盾した時間の流れは冬のささやかな温かさを感じさせてくれながらも、暖かい春をあっという間に運んできてくれる気がします。

残りわずかな長い冬。終わる頃には「温かい」寒さが少し恋しくなっているでしょうか。そんな恋しさも四季がもたらす趣（おもむき）なのかもしれません。

寒さに包まれて

朝、布団から出るのがつらい季節になった。まだしばらく寒い日々が続くだろう。早くあたたかくならないだろうかと春を待ち遠しく思うこともある。

けれどももちろん冬の寒さも悪いことばかりではない。朝の冷たい空気を吸い込んだ時の清々しい気持ちは冬ならではだし、ウィンタースポーツなど冬しか楽しめないものもたくさんある。そして、冬の寒さが教えてくれるとっておきのもの。それはさまざまなあたたかさだ。寒さの中、顔を埋めるマフラーの温もり。誰かと交わす会話のあたたかさ。外の寒さから一歩家に入った時の空気。窓の外の冷えた空気を見ながら飲むあたたかな飲み物。しっかりあたためられた部屋でお気に入りの本や映画を見る時間は、気温以上に心をあたためてくれる。寒い時期だからこそ感じるあたたかさを、しっかりと味わって暮らしたい。

風にゆられて誰かに届け！ 風船便

いつでも誰でも参加できますが、風船便の受取は新規の方へ優先されます。

誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あとは、事務局宛の返信用封筒同封下さい。今までにない交流の始まりです。

次回発送日

次回の発送日は通常通り2月15日となります。送りたいお手紙がある場合には、13日までに事務局に到着することを確認の上、ポストに投函してください。2月末の発送では、2月の日数が短い暦の関係上、3月2日に発送を行う予定です。

★言葉の冊子

前回募集しました新年恒例イベント「言葉の冊子～今年の目標～」の投稿の締切日は2月5日です。ホームページ上への掲載は2月10日頃を予定しておりますので、ぜひご覧ください！